SONY 4-546-775-**01** (1)

XLR アダプターキット
XLR Adaptor Kit
Kit adaptateur XLR
XLR 适配器套装

取扱説明書 / Operating Instructions / Mode d'emploi / Manual de instrucciones / 使用说明书

Multi Interface Shoe

XLR-K2M

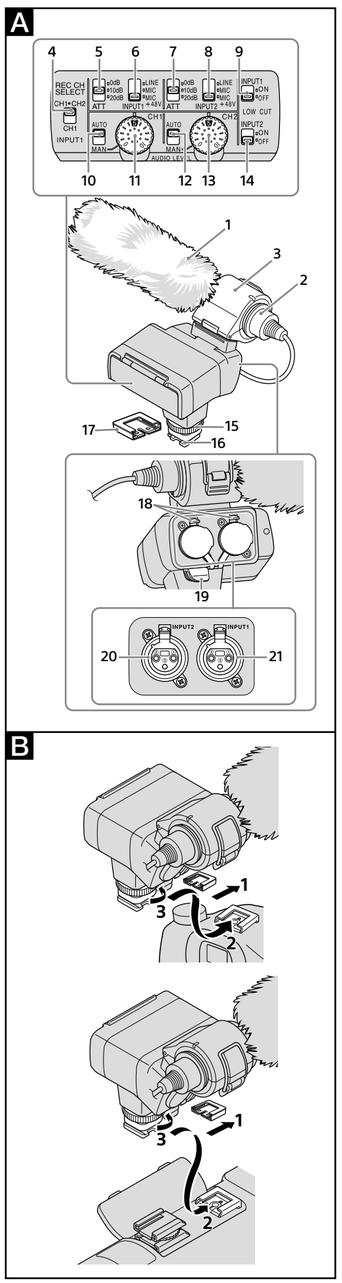
© 2014 Sony Corporation Printed in Japan

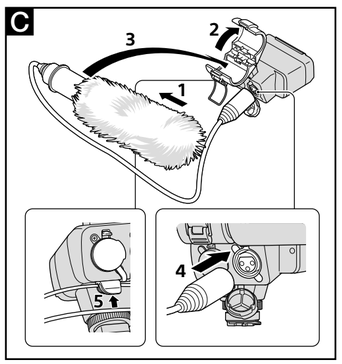
4546775010

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

http://www.sony.net/





日本語

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
  この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。
- **故障したら使わない**
  動作がおかしくなったり、コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口へ相談する。
- **万一、異常が起きたら**

変な音やにおい、煙が出た場合は ➡ ❶ 電源を切る ❷ ソニーの相談窓口へ相談する

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号		行為を禁止する記号	
火災	感電	禁止	分解禁止

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。

火災 感電

製品および同梱物を、乳幼児の手の届く範囲に放置しないでください。
乳幼児の手の届かない場所に置き、口に入れないよう注意する。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。 禁止

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ソニーの相談窓口にご相談ください。 禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

内部を開けない
感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はソニーの相談窓口へご相談ください。 禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない
故障の原因となります。 禁止

落としたりぶつけたりしない
故障の原因となります。 禁止

ブラケット(VCT-55LH)等を介し、他のアクセサリーも取り付けた状態で使用する場合、手持ち撮影をしない
落下等により、不慮の事故の原因となりますので、カメラを三脚に取り付けて使用してください。 禁止

主な特長

本機はマルチインターフェースシュー搭載機器対応のXLRアダプターとマイクロホンのキットです。
マルチインターフェースシューを搭載していても使用できないカメラがあります。
対応機種はWEBをご確認ください。

取り扱い上のご注意

- マイクロホンは精密機器です。落としたり、たたいたり、強い衝撃を与えないでください。
- 使用中、マイクロホンをスピーカーに近づけると“ピー”という音が発生することがあります(ハウリング現象)。その場合は、マイクロホンとスピーカーの距離をできるだけ離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- 本機をカメラに取り付けた状態で、本機をもってカメラを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。
- 本機を持ち運ぶ際は、カメラから取りはずして端子保護キャップを取り付けて、同梱のキャリングケースに入れてください。

レンズ交換時のご注意

- レンズ交換は、本機をカメラから取りはずしてから行ってください。
- レンズ交換の際、レンズおよびカメラボディにウインドスクリーンの繊維が付着していないか確認してください。付着している場合は、ブロアーなどで繊維を取り除いてからレンズ交換してください。
- 本機ご使用後は、レンズのクリーニングをおすすめします。

A 各部の名前

1 ウインドスクリーン **2** マイク **3** マイクホルダー
4 REC CH SELECT(INPUT1)スイッチ **5** ATT(INPUT1)スイッチ
6 INPUT1(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ
7 ATT(INPUT2)スイッチ
8 INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ
9 LOW CUT(INPUT1)スイッチ **10** AUTO/MAN(CH1)スイッチ
11 AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤル
12 AUTO/MAN(CH2)スイッチ
13 AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤル
14 LOW CUT(INPUT2)スイッチ **15** 固定ダイヤル
16 マルチインターフェースフット **17** 端子保護キャップ
18 リリースレバー **19** ケーブルホルダー **20** INPUT2端子
21 INPUT1端子

外部音声の入力:20、21
音源の選択:6、8
音源レベルの選択:5、7
録音するチャンネルの選択:4
録音レベルの選択:10、11、12、13
風音低減の入/切:9、14

B XLRアダプターを取り付ける

1 端子保護キャップをはずす。
XLRアダプターのマルチインターフェースフット底面からロックピンが突き出ていないか確認してください。

2 XLRアダプターのマルチインターフェースフットをカメラのマルチインターフェースシューに取り付ける。

3 XLRアダプターの固定ダイヤルをしっかり締める。

ご注意
- XLRアダプターのマルチインターフェースフットを最後までしっかり差し込んでから固定ダイヤルを締め、カメラにしっかりと固定されていることを確認してください。

XLRアダプターを取りはずすには

XLRアダプターの固定ダイヤルを充分にゆるめてから取りはずす。

C マイクを取り付ける

1 ウインドスクリーン(A-1)をマイクに取り付ける。

2 マイクホルダーのロックをはずし、取り付け部のカバーを開ける。

3 マイクを型名(ECM-XM1)が記された部分が上になるようにマイクホルダーの取り付け部に入れ、カバーを閉じ、マイクホルダーをロックする。

4 マイクケーブルをXLRアダプターのINPUT1端子につなぐ。
接続する機器が1つの場合は、INPUT1端子につないでください。

5 マイクケーブルをXLRアダプターのケーブルホルダー(A-19)に取り付ける。
- 音声の設定については、「音の設定をする」をご覧ください。
- ケーブルを無理に引っ張ったり、またはたゆんだ状態でケーブルホルダーに取り付けると、マイクホルダーに取り付けたマイクが著しく傾く場合があります。
  充分な防振効果が得られるように、マイクが大きく傾かないように注意ください。

マイクケーブルを取りはずすには

① マイクをマイクホルダーから取りはずす。
② リリースレバー(A-18)を下げながら、プラグを持って引き抜く。

音の設定をする

付属マイクを使う

単一指向性のモノラル音声を収録できます。

1 INPUT 1(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチを「MIC+48V」に切り換える。

2 REC CH SELECT(INPUT1)スイッチを「CH1・CH2」に切り換える。
この設定で、同じ音声がCH1、CH2の両方に録音されます。
CH1だけに録音したいときは、「CH1」にしてください。

録音レベルを調節する

INPUT1端子/INPUT2端子から入力した音声の録音レベルを調節できます。
内蔵マイクとMIC入力端子の録音レベルは調節できません。

1 調節するチャンネル(CH1またはCH2)のAUTO/MANスイッチを「MAN」にする。

2 AUDIO LEVELダイヤルを回して、適正なレベルになるように音量を調節する。
適正なレベルになっているか、ヘッドホンやオーディオレベルメーターで確認してください。

自動調整に戻すには

AUTO/MANスイッチを「AUTO」にする。

風切り音を低減する

INPUT1端子/INPUT2端子から入力した音声の風切り音を低減できます。

LOW CUT(INPUT1)スイッチまたはLOW CUT(INPUT2)スイッチを「ON」にする。

外部音声機器などを使う

付属マイク以外のマイクや外部音声機器(ミキサーなど)を使うには、以下のように設定してください。

1 入力する音源を選ぶ
INPUT1端子/INPUT2端子に接続する機器に合わせて、INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチを設定します。
外部音声機器(ミキサーなど):LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク:MIC
+48V電源(ファンタム電源)対応のマイク:MIC+48V

ご注意
- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になりますので、接続する前にご確認ください。
- 接続しない端子のノイズが気になるときは、INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチを「LINE」にしてください。

2 マイクの入力レベルを設定する。
INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチが「MIC」か「MIC+48V」のときは、ATT(INPUT1/INPUT2)スイッチで入力レベルを設定できます。マイクの感度に応じて調節してください。
付属のマイクロホン(ECM-XM1)の場合は、ATT 10dBがおすすめです。
入力レベルは、以下のようになります。
ATT 0dB:-60dBu
ATT 10dB:-50dBu
ATT 20dB:-40dBu

ご注意
- INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチがLINEのときは、入力レベルは+4dBuに固定されます。ATTスイッチを切り換えても入力レベルは変わりません。

3 録音するチャンネルを設定する。
REC CH SELECT(INPUT1)スイッチで、録音するチャンネルを選びます。

REC CH SELECT(INPUT1)スイッチの位置	CH1、CH2に録音される音声	
CH1・CH2	INPUT1	CH1 / CH2
CH1	INPUT1	CH1
	INPUT2	CH2

- XLR(3PIN)プラグが2個ついているステレオマイクを使うにはINPUT1端子にLch、INPUT2端子にRchを接続し、REC CH SELECT(INPUT1)スイッチをCH1に設定します。

主な仕様

最大外形寸法(約):
XLRアダプター(XLR-A2M)本体
116.5 mm × 105.5 mm × 75 mm(幅/高さ/奥行き)
(突起物、コード含まず)
マイクロホン(ECM-XM1)
21 mm × 162 mm(直径/長さ)
(ウインドスクリーン、コード含まず)
質量(約):
XLRアダプター(XLR-A2M)本体 250 g
マイクロホン(ECM-XM1) 121.5 g
動作温度:0 ℃ ~ 40 ℃
保存温度:-20 ℃ ~ +60 ℃
入力端子:
INPUT1/INPUT2端子:XLR型3ピン、凹
MIC:-60/-50/-40 dBu、3 kΩ
LINE:+4 dBu、10 kΩ
(0 dBu=0.775 Vrms)
同梱物:
XLRアダプター(XLR-A2M)(1)、マイクロホン(ECM-XM1)(1)、ウインドスクリーン(1)、端子保護キャップ(1)、キャリングケース(1)、印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

マルチインターフェースシューはソニー株式会社の商標です。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは
ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
- **品名:XLR-K2M**
- **故障の状態:できるだけ詳しく**
- **購入年月日**

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020	フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9577	携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9599
	※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「402」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

English

Before operating the product, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

WARNING

To reduce fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.
Keep out of reach of small children to prevent accidental swallowing.

For the Customers in the U.S.A.

CAUTION
You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
—Reorient or relocate the receiving antenna.
—Increase the separation between the equipment and receiver.
—Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
—Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

THIS DEVICE COMPLIES WITH PART 15 OF THE FCC RULES. OPERATION IS SUBJECT TO THE FOLLOWING TWO CONDITIONS:
(1) THIS DEVICE MAY NOT CAUSE HARMFUL INTERFERENCE, AND (2) THIS DEVICE MUST ACCEPT ANY INTERFERENCE RECEIVED, INCLUDING INTERFERENCE THAT MAY CAUSE UNDESIRED OPERATION.

For the Customers in Europe

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)
This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local Civic Office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

< Notice for the customers in the countries applying EU Directives >

Manufacturer: Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan
For EU product compliance: Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany

Features

The XLR-K2M is a kit including an XLR Adaptor for a device equipped with a Multi Interface Shoe and a microphone. Some camera models with a Multi Interface Shoe cannot be used with this kit.
For details on compatible camera models of this unit, visit the website of Sony in your area, or consult your dealer of Sony or local authorized Sony service facility.

Notes on use

- The microphone is a precision instrument. Do not drop, knock it, or subject it to excessive shock.
- If the microphone is placed near speakers, a howling effect (acoustic feedback) may occur. If this happens, place the microphone as far as possible from the speakers, or lower the volume of the speaker.
- Do not hold this unit to pick up or carry the camera when attached.
- To carry this unit, remove it from the camera, attach the connector protect cap to this unit and put it in the supplied carrying case.

Notes on changing the lens

- Before changing the lens, remove this unit from the camera.
- Before changing the lens, check whether there are any fibers from the wind screen on the lens or camera body. Brush any fibers off with a blower etc. and then change the lens.
- After using this unit, cleaning the lens is recommended.

A Identifying the parts

1 Wind screen **2** Microphone **3** Microphone holder
4 REC CH SELECT (INPUT1) switch **5** ATT (INPUT1) switch
6 INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) switch **7** ATT (INPUT2) switch
8 INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) switch
9 LOW CUT (INPUT1) switch **10** AUTO/MAN (CH1) switch
11 AUDIO LEVEL (CH1) dial **12** AUTO/MAN (CH2) switch
13 AUDIO LEVEL (CH2) dial **14** LOW CUT (INPUT2) switch
15 Lock dial **16** Multi Interface foot
17 Connector protect cap **18** Release lever **19** Cable holder
20 INPUT2 jack **21** INPUT1 jack

Inputting external sound: 20, 21
Selecting a sound source: 6, 8
Selecting a sound source level: 5, 7
Selecting channel setting for recording: 4
Selecting the recording level: 10, 11, 12, 13
Switching wind noise reduction to ON/OFF: 9, 14

B Attaching the XLR Adaptor

1 Detach the connector protect cap from the connector plug of the XLR Adaptor.
Check that the lock pin is not protruding from the bottom of the Multi Interface foot of the XLR Adaptor.

2 Attach the Multi Interface foot of the XLR Adaptor to the Multi Interface Shoe of the camera.

3 Tighten the lock dial of the XLR Adaptor securely.

Notes
- Insert the Multi Interface foot of the XLR Adaptor fully into the Multi Interface Shoe of the camera, and tighten the lock dial securely. Make sure this unit is attached securely.

When detaching the XLR Adaptor

Fully loosen the lock dial of the XLR Adaptor before detaching the XLR Adaptor.

C Attaching the microphone

1 Attach the wind screen (A-1) to the microphone.

2 Unlock the stopper of the microphone holder and open the cover.

3 Place the microphone into the holder so that the model name (ECM-XM1) on the microphone faces upward. Then close the cover and firmly lock the stopper.

4 Connect the connector plug of the microphone to the INPUT1 jack on the XLR Adaptor.
Connect the connector plug of the microphone to the INPUT1 jack if you connect one device.

5 Put the microphone cable into the cable holder (A-19) on the XLR Adaptor.
- See "Audio setup" for audio recording.
- If the cable is pulled with too much force or attached to the cable holder too loosely, the microphone attached to the microphone holder may tilt a lot.
  To get the full anti-vibration effect, make sure the microphone is not tilting too much.

When detaching the microphone cable

① Detach the microphone from the microphone holder.
② Unplug the microphone plug while pressing the release lever (A-18) down.

Audio setup

Using the supplied microphone

You can record unidirectional monaural sound with the microphone.

1 Set the INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) switch to MIC+48V.

2 Set the REC CH SELECT (INPUT1) switch to CH1·CH2.
This setting enables recording on both CH1 and CH2. Set the switch to CH1 if you want to record on CH1 only.

Adjusting the recording level

You can adjust the recording level input from the INPUT1/INPUT2 jacks.
You cannot adjust the recording level of the internal microphone and MIC input jack.

1 Set the AUTO/MAN (CH1/CH2) switch of the channel to be adjusted to MAN.

2 Turn the AUDIO LEVEL dial to adjust the volume to the proper level.
Check that the volume is at the proper level, with headphones or audio level meter.

To restore automatic adjustment

Set the AUTO/MAN (CH1/CH2) switch to AUTO.

Reducing wind noise

You can reduce wind noise input from the INPUT1/INPUT2 jacks.

Set the LOW CUT (INPUT1) switch or LOW CUT (INPUT2) switch to ON.

Using an external audio device

Set as follows when you use a microphone other than the supplied microphone or an external audio device (mixer, etc.).

1 Select the sound source to be input.
Set the INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) switch according to the device to be connected to the INPUT1/INPUT2 jacks.
External audio device (mixer, etc.): LINE
Dynamic microphone or microphone with built-in battery: MIC
Microphone that is 48V phantom power compliant: MIC+48V

Notes
- If you connect a device that does not support 48V phantom power, malfunction may result from setting this switch to MIC+48V. Check before connecting the device.
- If noise from the unused jack bothers you, set the INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) switch of the unused jack to LINE.

2 Set the input level of the microphone.
When the INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) switch is set to MIC or MIC+48V, you can set the input level with the ATT (INPUT1/INPUT2) switch.
Adjust according to the microphone sensitivity.
ATT 10dB is recommended when you use the supplied microphone (ECM-XM1).
The input levels are as follows.
ATT 0dB: -60dBu
ATT 10dB: -50dBu
ATT 20dB: -40dBu

Notes
- When the INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) switch is set to LINE, the input level is fixed to +4dBu. Even if you reset the ATT switch, the input level does not change.

3 Set the channel to be recorded.
You can select the channel to be recorded, with the REC CH SELECT (INPUT1) switch.

Position of the REC CH SELECT (INPUT1) switch	Audio recorded on CH1 & CH2	
CH1·CH2	INPUT1	CH1 / CH2
CH1	INPUT1	CH1
	INPUT2	CH2

- To use a stereo microphone with two XLR (3PIN) plugs, connect Lch to the INPUT1 jack and Rch to the INPUT2 jack, and set the REC CH SELECT (INPUT1) switch to CH1.

Specifications

Maximum dimensions (Approx.)
XLR Adaptor (XLR-A2M) unit
116.5 mm × 105.5 mm × 75 mm (w/h/d)
(4 5/8 in. × 4 1/4 in. × 3 in.)
(excluding the cord and projecting parts)
Microphone (ECM-XM1)
21 mm × 162 mm (Diameter/Length)
(27/32 in. × 6 1/2 in.)
(excluding the wind screen and cord)
Mass (Approx.)
XLR Adaptor (XLR-A2M) unit 250 g (8 oz)
Microphone (ECM-XM1) 121.5 g (4 oz)
Operating temperature 0 °C to 40 °C (32 °F to 104 °F)
Storage temperature -20 °C to +60 °C (-4 °F to +140 °F)
Input jacks
INPUT1/INPUT2 jacks: XLR3-pin, female
MIC: -60 dBu /-50 dBu /-40 dBu, 3 kΩ(kilohms)
LINE: +4 dBu, 10 kΩ (kilohms)
(0 dBu=0.775 Vrms)
Included items
XLR Adaptor (XLR-A2M) (1), Microphone (ECM-XM1) (1), Wind screen (1), Connector protect cap (1), Carrying case (1), Set of printed documentation

Design and specifications are subject to change without notice.

Multi Interface Shoe is a trademark of Sony Corporation.

Français

Avant d'utiliser ce produit, prière de lire attentivement ce mode d'emploi et de le conserver pour toute référence future.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou de décharge électrique, n'exposez pas cet appareil à la pluie ou à l'humidité.
Rangez hors de portée des enfants pour éviter toute ingestion accidentelle.

À l'intention des clients aux É.-U.

AVERTISSEMENT
Par la présente, vous êtes avisé du fait que tout changement ou toute modification ne faisant pas l'objet d'une autorisation expresse dans le présent manuel pourrait annuler votre droit d'utiliser l'appareil.

Note
L'appareil a été testé et est conforme aux exigences d'un appareil numérique de Classe B, conformément à la Partie 15 de la réglementation de la FCC.
Ces critères sont conçus pour fournir une protection raisonnable contre les interférences nuisibles dans un environnement résidentiel. L'appareil génère, utilise et peut émettre des fréquences radio; s'il n'est pas installé et utilisé conformément aux instructions, il pourrait provoquer des interférences nuisibles aux communications radio.
Cependant, il n'est pas possible de garantir que des interférences ne seront pas provoquées dans certaines conditions particulières. Si l'appareil devait provoquer des interférences nuisibles à la réception radio ou à la télévision, ce qui peut être démontré en allumant et éteignant l'appareil, il est recommandé à l'utilisateur d'essayer de corriger cette situation par l'une ou l'autre des mesures suivantes :
—Réorienter ou déplacer l'antenne réceptrice.
—Augmenter la distance entre l'appareil et le récepteur.
—Brancher l'appareil dans une prise ou sur un circuit différent de celui sur lequel le récepteur est branché.
—Consulter le détaillant ou un technicien expérimenté en radio/téléviseurs.

Cet appareil est conforme à la section 15 des règlements FCC. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes : (1) cet appareil ne doit pas provoquer d'interférences nuisibles, (2) cet appareil doit accepter toute interférence, y compris celles susceptibles de provoquer son fonctionnement indésirable.

Pour les clients en Europe

Traitement des appareils électriques et électroniques en fin de vie (Applicable dans les pays de l'Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)
Ce symbole, apposé sur le produit ou sur son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers.
Il doit être remis à un point de collecte approprié pour le recyclage des équipements électriques et électroniques. En vous assurant que ce produit sont mis au rebut de façon appropriée, vous participez activement à la prévention des conséquences négatives que leur mauvais traitement pourrait provoquer sur l'environnement et sur la santé humaine. Le recyclage des matériaux contribue par ailleurs à la préservation des ressources naturelles. Pour toute information complémentaire au sujet du recyclage de ce produit, vous pouvez contacter votre municipalité, votre déchetterie locale ou le point de vente où vous avez acheté le produit.

< Avis aux consommateurs des pays appliquant les Directives UE >

Fabricant: Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japon
Pour toute question relative à la conformité des produits dans l'UE: Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne

Caractéristiques

Le XLR-K2M est un kit comprenant un adaptateur XLR pour appareil à griffe multi-interface et un microphone.
Certains modèles d'appareils photo/caméscopes à griffe multi-interface ne peuvent pas être utilisés avec ce kit.
Pour plus de détails sur les modèles d'appareils photo/caméscopes compatibles avec cet accessoire, consultez le site Web de Sony de votre région, ou adressez-vous à votre revendeur Sony ou au service après-vente agréé Sony local.

Remarques sur l'emploi

- Le microphone est un instrument de précision. Ne le laissez pas tomber, ne le cognez pas et ne le soumettez pas à des chocs.
- Si le microphone est placé près d'enceintes, un hurlement (rétroaction acoustique) peut se produire. Dans ce cas, éloignez le plus possible le microphone des enceintes, ou bien réduisez le volume du microphone.
- Ne soulevez pas ou ne tenez pas l'appareil photo/caméscope par cet accessoire lorsque ce dernier est rattaché.
- Pour transporter cet accessoire, retirez-le de l'appareil photo/caméscope, rattachez le capuchon de protection de connecteur et rangez-le dans l'étui de transport fourni.

Remarques sur le changement d'objectif
- Avant de changer d'objectif, retirez cet accessoire de l'appareil photo/caméscope.
- Avant de changer d'objectif, assurez-vous de l'absence de fibres de la bonnette antivent sur l'objectif ou l'appareil photo/caméscope. Retirez toute fibre avec un soufflet, etc. avant de changer d'objectif.
- Il est conseillé de nettoyer l'objectif après l'utilisation de cet accessoire.

A Identification des éléments

1 Bonnette antivent **2** Microphone
3 Support de microphone
4 Commutateur REC CH SELECT (INPUT1)
5 Commutateur ATT (INPUT1)
6 Commutateur INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V)
7 Commutateur ATT (INPUT2)
8 Commutateur INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V)
9 Commutateur LOW CUT (INPUT1)
10 Commutateur AUTO/MAN (CH1)
11 Molette AUDIO LEVEL (CH1)
12 Commutateur AUTO/MAN (CH2)
13 Molette AUDIO LEVEL (CH2)
14 Commutateur LOW CUT (INPUT2)
15 Molette de verrouillage **16** Sabot multi-interface
17 Capuchon de protection de connecteur
18 Levier de libération **19** Support de câble
20 Prise d'entrée INPUT2 **21** Prise d'entrée INPUT1

Transmission d'un son externe: 20, 21
Sélection d'une source sonore: 6, 8
Sélection du niveau d'une source sonore: 5, 7
Sélection d'un canal pour l'enregistrement: 4
Sélection du niveau d'enregistrement: 10, 11, 12, 13
Activation/désactivation de la réduction du bruit du vent: 9, 14

B Fixation de l'adaptateur XLR

1 Détachez le capuchon de protection de connecteur de la fiche-connecteur de l'adaptateur XLR.
Assurez-vous que la goupille de verrouillage ne dépasse pas de la partie inférieure du sabot multi-interface de l'adaptateur XLR.

2 Raccordez le sabot multi-interface de l'adaptateur XLR à la griffe multi-interface de l'appareil photo/caméscope.

3 Serrez correctement la molette de verrouillage de l'adaptateur XLR.

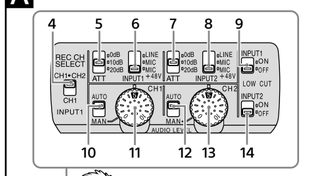
Remarques
- Insérez à fond le sabot multi-interface de l'adaptateur XLR dans la griffe multi-interface de l'appareil photo/caméscope, puis serrez la molette de verrouillage. Assurez-vous que cet accessoire est bien rattaché.

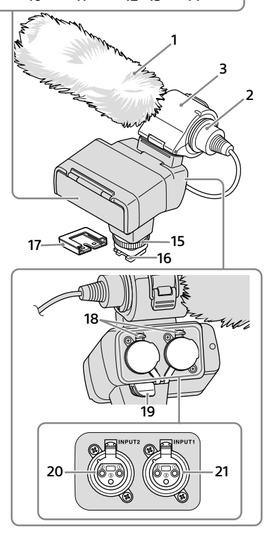
Pour détacher l'adaptateur XLR

Desserrez complètement la molette de verrouillage de l'adaptateur XLR avant de détacher l'adaptateur XLR.

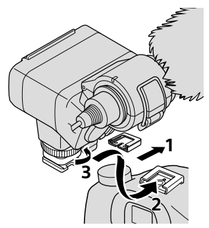
(Suite à la page arrière)

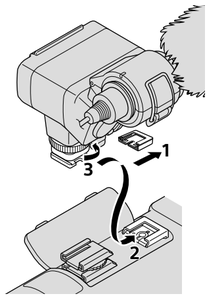
A



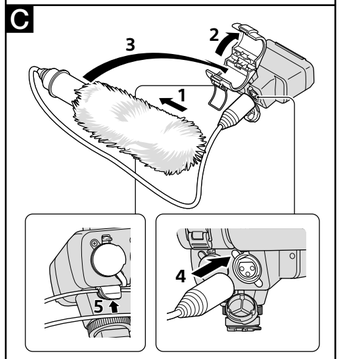


B





C



Français

(Suite de la page avant)

C Fixation du microphone

1 Rattachez la bonnette antivent (A-1) au microphone.

2 Débloquez la fermeture du support de microphone et ouvrez le couvercle.

3 Placez le microphone sur le support de telle manière que le nom de modèle (ECM-XM1) du microphone soit orienté vers le haut. Fermez ensuite le couvercle et bloquez bien la fermeture.

4 Raccordez la fiche-connecteur du microphone à la prise INPUT1 de l'adaptateur XLR.
Raccordez la fiche-connecteur du microphone à la prise INPUT1 si vous raccordez un appareil.

5 Mettez le câble de microphone dans le support de câble (A-19) sur l'adaptateur XLR.
- Voir « Réglage du son » pour l'enregistrement du son.
- Si une force excessive est appliquée sur le câble ou si le câble est trop lâche sur son support, le microphone fixé au support risque de s'incliner fortement.
  Pour obtenir un effet antivibrations total, assurez-vous que le microphone n'est pas trop incliné.

Lorsque le câble de microphone est détaché

① Détachez le microphone du support de microphone.
② Débranchez la fiche de microphone tout en appuyant sur le levier de libération (A-18).

Réglage du son

Utilisation du microphone fourni

Vous pouvez enregistrer le son en monophonie unidirectionnel avec le microphone.

1 Réglez le commutateur INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) sur MIC+48V.

2 Réglez le commutateur REC CH SELECT (INPUT1) sur CH1·CH2.
Ce réglage permet d'enregistrer sur les deux canaux CH1 et CH2. Réglez le commutateur sur CH1 si vous voulez enregistrer sur CH1 seulement.

Réglage du niveau d'enregistrement

Vous pouvez régler le niveau d'enregistrement du son provenant des prises INPUT1/INPUT2.
Vous ne pouvez pas régler le niveau d'enregistrement du microphone interne et de la prise d'entrée MIC.

1 Réglez le commutateur AUTO/MAN (CH1/CH2) du canal devant être ajusté sur MAN.

2 Tournez la molette AUDIO LEVEL pour ajuster le volume au niveau souhaité.
Assurez-vous que le volume est au niveau correct avec un casque d'écoute ou un indicateur de niveau sonore.

Pour revenir au réglage automatique

Réglez le commutateur AUTO/MAN (CH1/CH2) sur AUTO.

Réduction du bruit du vent

Vous pouvez réduire le bruit du vent provenant des prises INPUT1/INPUT2.

Réglez le commutateur LOW CUT (INPUT1) ou le commutateur LOW CUT (INPUT2) sur ON.

Utilisation d'un appareil audio externe

Faites les réglages suivants lorsque vous utilisez un microphone autre que le microphone fourni ou un appareil audio externe (mixeur, etc.).

1 Sélectionnez la source sonore à transmettre.
Réglez le commutateur INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) selon l'appareil devant être branché sur les prises INPUT1/INPUT2.
Appareil audio externe (mixeur, etc.) : LINE
Microphone dynamique ou microphone avec pile intégrée : MIC
Microphone compatible ayant une alimentation fantôme de 48 V : MIC+48V

Remarques
- Si vous raccordez un appareil ne prenant pas en charge une alimentation fantôme de 48V, le réglage de ce commutateur sur MIC+48V peut entraîner un dysfonctionnement. Vérifiez avant de raccorder l'appareil.
- Si le bruit émis par la prise non utilisée vous dérange, réglez le commutateur INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) de la prise non utilisée sur LINE.

2 Réglez le niveau d'entrée du microphone.
Lorsque le commutateur INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) est réglé sur MIC ou MIC+48V, vous pouvez régler le niveau d'entrée avec le commutateur ATT (INPUT1/INPUT2).
Réglez-le en fonction de la sensibilité du microphone. ATT 10dB est recommandé lorsque vous utilisez le microphone fourni (ECM-XM1).
Les niveaux d'entrée sont les suivants.
ATT 0dB : -60 dBu
ATT 10dB : -50 dBu
ATT 20dB : -40 dBu

Remarques
- Lorsque le commutateur INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) est réglé sur LINE, le niveau d'entrée reste fixé sur +4dBu. Même si le commutateur ATT est réinitialisé, le niveau d'entrée ne change pas.

3 Réglez le canal à enregistrer.
Vous pouvez sélectionner le canal à enregistrer avec le commutateur REC CH SELECT (INPUT1).

Position du commutateur REC CH SELECT (INPUT1)	Son enregistré sur CH1 & CH2	
CH1·CH2	INPUT1	CH1 CH2
CH1	INPUT1	CH1
	INPUT2	CH2

- Pour utiliser un microphone stéréo avec deux fiches XLR (3PIN), raccordez le canal gauche à la prise INPUT1 et le canal droit à la prise INPUT2, et réglez le commutateur REC CH SELECT (INPUT1) sur CH1.

Spécifications

Dimensions (environ)
Adaptateur XLR (XLR-A2M)
116,5 mm × 105,5 mm × 75 mm (l/h/p)
(4 5/8 po. × 4 1/4 po. × 3 po.)
(cordon et parties saillantes non compris)
Microphone (ECM-XM1)
21 mm × 162 mm (diamètre/longueur)
(27/32 po. × 6 1/2 po.)
(bonnette antivent et cordon non compris)
Poids (environ)
Adaptateur XLR (XLR-A2M) 250 g (8 oz)
Microphone (ECM-XM1) 121,5 g (4 oz)
Température de fonctionnement
0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F)
Température d'entreposage
-20 °C à +60 °C (-4 °F à +140 °F)
Prises d'entrée
Prises INPUT1/INPUT2 : XLR 3 broches, femelle
MIC : -60 dBu /-50 dBu /-40 dBu, 3 kΩ (kilohms)
LINE : +4 dBu, 10 kΩ (kilohms) (0 dBu=0,775 efficace)
Articles inclus
Adaptateur XLR (XLR-A2M) (1), Microphone (ECM-XM1) (1), Bonnette antivent (1), Capuchon de protection de connecteur (1), Étui de transport (1), Jeu de documents imprimés

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans préavis.

Multi Interface Shoe est une marque commerciale de Sony Corporation.

Español

Antes de poner en funcionamiento el producto, lea detalladamente todo este manual y guárdelo para poderlo consultar en el futuro.

AVISO

Para reducir el riesgo de incendio o descarga eléctrica, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.
Mantenga fuera del alcance de niños para evitar su tragado accidental.

Para los clientes en Europa

Tratamiento de los equipos eléctricos y electrónicos al final de su vida útil (aplicable en la Unión Europea y en países europeos con sistemas de tratamiento selectivo de residuos)
Este símbolo en el equipo o en su embalaje indica que el presente producto no puede ser tratado como residuos doméstico normal. Debe entregarse en el correspondiente punto de recogida de equipos eléctricos y electrónicos. Al asegurarse de que este producto se desecha correctamente, usted ayuda a prevenir las consecuencias potencialmente negativas para el medio ambiente y la salud humana que podrían derivarse de la incorrecta manipulación en el momento de deshacerse de este producto. El reciclaje de materiales ayuda a conservar los recursos naturales. Para recibir información detallada sobre el reciclaje de este producto, póngase en contacto con el ayuntamiento, el punto de recogida más cercano o el establecimiento donde ha adquirido el producto.

< Aviso para los clientes de países en los que se aplican las directivas de la UE >

Fabricante: Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japón
Para la conformidad del producto en la UE: Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania

Características

El XLR-K2M es un juego que incluye un adaptador para XLR para un dispositivo equipado con una zapata de interfaz múltiple y un micrófono.
Algunos modelos de cámaras con zapata de interfaz múltiple no pueden utilizarse con este juego.
Con respecto a los detalles sobre los modelos de cámaras compatibles con esta unidad, visite el sitio Web de Sony de su área, o póngase en contacto con su proveedor Sony o con el centro de servicio local autorizado por Sony.

Notas sobre la utilización

- El micrófono es un instrumento de precisión. No lo deje caer, golpee, ni lo someta a choques excesivos.
- Si coloca el micrófono cerca de altavoces, puede ocurrir un efecto de aullido (retroalimentación acústica). Si sucede esto, aleje el micrófono lo más posible de los altavoces, o reduzca el volumen de dichos altavoces.
- No sujete esta unidad para tomar o transportar la cámara cuando esté instalada.
- Para transportar esta unidad, retírela de la cámara, fíjele la tapa protectora de conector, y colóquela en la funda de transporte suministrada.

Nota sobre el cambio de objetivo

- Antes de cambiar el objetivo, extraiga esta unidad de la cámara.
- Antes de cambiar el objetivo, compruebe que no haya fibras del parabrisas en el objetivo o el cuerpo de la cámara. Elimine las fibras que pueda haber con un soplador, etc., y después cambie el objetivo.
- Después de utilizar esta unidad, se recomienda limpiar el objetivo.

A Identificación de los componentes

1 Parabrisas **2** Micrófono **3** Soporte para micrófono
4 Selector REC CH SELECT (INPUT1) **5** Selector ATT (INPUT1)
6 Selector INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V)
7 Selector ATT (INPUT2)
8 Selector INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V)
9 Selector LOW CUT (INPUT1) **10** Selector AUTO/MAN (CH1)
11 Mando AUDIO LEVEL (CH1) **12** Selector AUTO/MAN (CH2)
13 Mando AUDIO LEVEL (CH2)
14 Selector LOW CUT (INPUT2) **15** Mando de bloqueo
16 Pata de interfaz múltiple **17** Tapa protectora de conector
18 Palanca de liberación **19** Soporte para cable
20 Toma INPUT2 **21** Toma INPUT1

Aplicación de sonido externo: 20, 21
Selección de una fuente de sonido: 6, 8
Selección de un nivel de fuente de sonido: 5, 7
Selección de un ajuste de canal para grabación: 4
Selección del nivel de grabación: 10, 11, 12, 13
Activación/desactivación de la reducción de ruido de viento: 9, 14

B Fijación del adaptador para XLR

1 Retire la tapa protectora de conector de la clavija conectora del adaptador para XLR.
Compruebe que el pasador de bloqueo no sobresalga de la parte inferior de la pata de interfaz múltiple del adaptador para XLR.

2 Fije la pata de interfaz múltiple del adaptador para XLR a la zapata de interfaz múltiple de la cámara.

3 Apriete con seguridad el mando de bloqueo del adaptador para XLR.

Notas
- Inserte la pata de interfaz múltiple del adaptador para XLR en la zapata de interfaz múltiple de la cámara, y después apriete con seguridad el mando de bloqueo. Cerciórese de que ésta haya quedado fijada con seguridad.

Cuando desmonte el adaptador para XLR

Afloje completamente el mando de bloqueo del adaptador para XLR antes de desmontar el adaptador para XLR.

C Fijación del micrófono

1 Fije el parabrisas (A-1) al micrófono.

2 Desbloquee el tope del soporte para micrófono y abra la cubierta.

3 Coloque el micrófono en el soporte de forma que el nombre del modelo (ECM-XM1) del micrófono quede encarado hacia arriba. Después cierre la cubierta y bloquee firmemente el tope.

4 Conecte la clavija conectora del micrófono en la toma INPUT1 del adaptador para XLR.
Conecte la clavija conectora del micrófono en la toma INPUT1 si va a conectar un dispositivo.

5 Ponga el cable del micrófono en el soporte para cable (A-19) del adaptador para XLR.
- Consulte "Configuración de audio" para la grabación de audio.
- Si tira con demasiada fuerza del cable o lo fija al soporte del cable demasiado flojo, el micrófono fijado al soporte del micrófono puede inclinarse mucho. Para obtener el efecto de anti-vibración completo, asegúrese de que el micrófono no esté demasiado inclinando.

Cuando desmonte el cable del micrófono

① Desmonte el micrófono del soporte para micrófono.
② Desconecte la clavija conector manteniendo presionada la palanca de liberación (A-18).

Configuración de audio

Utilización del micrófono suministrado

Con el micrófono puede grabar sonido monoaural unidireccional.

1 Ponga el selector INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) en MIC+48V.

2 Ponga el selector REC CH SELECT (INPUT1) en CH1·CH2.
Este ajuste permite grabar tanto en CH1 como en CH2. Ponga el selector en CH1 si sólo desea grabar en CH1.

Ajuste del nivel de grabación

Puede ajustar el nivel de grabación de la entrada procedente de las tomas INPUT1/INPUT2.
No puede ajustar el nivel de grabación del micrófono interno ni de la toma de entrada MIC.

1 Ponga el selector AUTO/MAN (CH1/CH2) del canal que desee ajustar en MAN.

2 Gire el mando AUDIO LEVEL para ajustar el volumen al nivel apropiado.
Compruebe que el volumen esté al nivel apropiado con los auriculares o el medidor de nivel de audio.

Para restablecer el ajuste automático

Ponga el selector AUTO/MAN (CH1/CH2) en AUTO.

Reducción del ruido de viento

Puede reducir el ruido de viento de la entrada procedente de las tomas INPUT1/INPUT2.

Ponga el selector LOW CUT (INPUT1) o el selector LOW CUT (INPUT2) en ON.

Utilización de un dispositivo de audio externo

Ajuste de la forma siguiente cuando utilice un micrófono que no sea el suministrado o un dispositivo de audio externo (mezclador, etc.).

1 Seleccione la fuente de entrada que desee aplicar.
Ajuste el selector INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) de acuerdo con el dispositivo que vaya a conectar a las tomas INPUT1/INPUT2.
Dispositivo de audio externo (mezclador, etc.): LINE
Micrófono dinámico o micrófono con pila incorporada: MIC
Micrófono que admite alimentación fantasma de 48 V: MIC+48V

Notas
- Si conecta un dispositivo que no admite alimentación fantasma de 48 V, puede resultar un mal funcionamiento si pone este selector en MIC+48V. Compruebe antes de conectar el dispositivo.
- Si el ruido procedente de la toma no utilizada le molesta, ponga el selector INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) de la toma no utilizada en LINE.

2 Ajuste el nivel de entrada del micrófono.
Cuando el selector INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) esté ajustado a MIC o MIC+48V, podrá ajustar el nivel de entrada con el selector ATT (INPUT1/INPUT2).
Ajuste de acuerdo con la sensibilidad del micrófono. Se recomienda ATT 10dB cuando se utilice el micrófono suministrado (ECM-XM1).
Los niveles de entrada son los siguientes.
ATT 0dB: -60dBu
ATT 10dB: -50dBu
ATT 20dB: -40dBu

Notas
- Cuando el selector INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) esté ajustado a LINE, el nivel de entrada estará fijado a +4dBu. Aunque reponga el selector ATT, el nivel de entrada no cambiará.

3 Ajuste el canal que desee grabar.
Puede seleccionar el canal que desee grabar con el selector REC CH SELECT (INPUT1).

Posición del selector REC CH SELECT (INPUT1)	Audio grabado en CH1 y CH2	
CH1·CH2	INPUT1	CH1 CH2
CH1	INPUT1	CH1
	INPUT2	CH2

- Para utilizar un micrófono externo con dos clavijas XLR (3 contactos), conecte el canal izquierdo a la toma INPUT1 y el canal derecho a la toma INPUT2, y ajuste el selector REC CH SELECT (INPUT1) a CH1.

Especificaciones

Dimensiones (Aprox.)
Unidad de adaptador para XLR (XLR-A2M)
116,5 mm × 105,5 mm × 75 mm (an/al/prf)
(excluyendo el cable y las partes salientes)
Micrófono (ECM-XM1)
21 mm × 162 mm (diámetro/longitud)
(excluyendo el parabrisas y el cable)
Peso (Aprox.)
Unidad de adaptador para XLR (XLR-A2M) 250 g
Micrófono (ECM-XM1) 121,5 g
Temperatura de funcionamiento 0 °C a 40 °C
Temperatura de almacenamiento -20 °C a +60 °C
Tomas de entrada
Tomas INPUT1/INPUT2: XLR, 3 contactos, hembra
MIC: -60 dBu /-50 dBu /-40 dBu, 3 kΩ (kiloohmios)
LINE: +4 dBu, 10 kΩ (kiloohmios) (0 dBu=0,775 Vrms)
Elementos incluidos
Adaptador para XLR (XLR-A2M) (1), Micrófono (ECM-XM1) (1), Parabrisas (1), Tapa protectora de conector (1), Funda de transporte (1), Juego de documentación impresa

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambio sin previo aviso.

Multi Interface Shoe es marca comercial de Sony Corporation.

中文（简）

在操作本产品前，请通读本手册，然后保存好本手册以备将来参考。

警告

为减少发生火灾或触电的危险，请勿让本装置淋雨或受潮。
应避免儿童触及，以防误吞。

特性

XLR-K2M 是一款套装产品，它包括 XLR 适配器（用于配备多接口热靴的设备）及麦克风。
有些带有多接口热靴的相机/摄像机并不能使用本套装。
有关与本装置兼容的相机/摄像机型号的详细信息，请访问所在地区的 Sony 网站，或者咨询您的 Sony 经销商或当地的 Sony 授权服务机构。

使用须知

- 本款麦克风属精密设备。 请勿使其摔落，或者受到撞击或过大震动。
- 如果麦克风位于扬声器旁边，可能会有呼啸声（回声）。 这种情况下，请将麦克风尽量远离扬声器，或者调低扬声器的音量。
- 在安装本装置的情况下，拿起或携带相机/摄像机时切勿只握持本装置。
- 携带本装置时，请将其从相机/摄像机上卸下，为本装置安装连接器保护帽，然后将其放入附带的携带包中。

更换镜头须知

- 更换镜头前，请将本装置从相机/摄像机上卸下。
- 更换镜头前，检查镜头或相机/摄像机机身的挡风罩上是否有纤维物质。 如果有纤维物质，请用吹风机等将其吹走，然后再更换镜头。
- 使用本装置后，建议对镜头进行清洁。

A 部件识别

1 挡风罩 2 麦克风 3 麦克风架
4 REC CH SELECT (INPUT1) 开关
5 ATT (INPUT1) 开关
6 INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) 开关
7 ATT (INPUT2) 开关
8 INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) 开关
9 LOW CUT (INPUT1) 开关
10 AUTO/MAN (CH1) 开关
11 AUDIO LEVEL (CH1) 转盘
12 AUTO/MAN (CH2) 开关
13 AUDIO LEVEL (CH2) 转盘
14 LOW CUT (INPUT2) 开关 15 锁定转盘
16 多接口底座 17 连接器保护帽 18 释放杆
19 电缆架 20 INPUT2 插孔 21 INPUT1 插孔

输入外部声音： 20, 21
选择声源： 6, 8
选择声源电平： 5, 7
选择记录时的声道设置： 4
选择记录电平： 10, 11, 12, 13
开/关降风噪功能： 9, 14

B 安装 XLR 适配器

1 取下 XLR 适配器的连接器插头上的连接器保护帽。
检查并确保锁定销未从 XLR 适配器的多接口底座的底部探出。

2 将 XLR 适配器的多接口底座安装到相机/摄像机的多接口热靴上。

3 牢牢拧紧 XLR 适配器的锁定转盘。

注意
- 应将 XLR 适配器的多接口底座完全插入相机/摄像机的多接口热靴上，然后将锁定转盘牢牢拧紧。 务必将本装置安装牢固。

拆卸 XLR 适配器时

在拆卸 XLR 适配器之前，先将 XLR 适配器的锁定转盘完全松开。

C 安装麦克风

1 将挡风罩（A-1）安装到麦克风上。

2 松开麦克风架的制动器，打开盖子。

3 将麦克风放入支架中，让麦克风上的型号名 (ECM-XM1) 朝上。 然后，关上盖子并将制动器牢牢锁紧。

4 将麦克风的连接器插头连接至 XLR 适配器的 INPUT1 插孔。
如果只连接一台设备，可将麦克风的连接器插头连接至 INPUT1 插孔。

5 将麦克风电缆放入 XLR 适配器的电缆架（A-19）中。
- 有关录音事宜，请参阅“音频设置”。
- 如果用力拉拽电缆，或者电缆与电缆架之间连接太松，安装在麦克风架上的麦克风可能会有较大倾斜。
  为获得最佳防震效果，应确保麦克风不要发生过大倾斜。

拆卸麦克风电缆时

① 将麦克风从麦克风架上卸下。
② 下压释放杆（A-18）的同时拔下麦克风插头。

音频设置

使用附带的麦克风

您可以通过此麦克风录制无方向性单声道声音。

1 将 INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) 开关设为 MIC+48V。

2 将 REC CH SELECT (INPUT1) 开关设为 CH1•CH2。
此设置可将声音同时记录到 CH1 和 CH2 上。 如果只想记录到 CH1 上，请将此开关设为 CH1。

调节记录电平

您可以调节从 INPUT1/INPUT2 插孔输入的记录电平。
内部麦克风及 MIC 输入插孔的记录电平是无法调节的。

1 将所要调节的声道的 AUTO/MAN (CH1/CH2) 开关设为 MAN。

2 转动 AUDIO LEVEL 转盘，将音量调节至适当的水平。
利用耳机或音量检测仪检查音量是否合适。

如需恢复自动调节

将 AUTO/MAN (CH1/CH2) 开关设为 AUTO。

降风噪

您可以降低从 INPUT1/INPUT2 插孔输入的风噪。

将 LOW CUT (INPUT1) 开关或 LOW CUT (INPUT2) 开关设为 ON。

使用外部音频设备

使用非附带的麦克风或外部音频设备（混音器等）时，请按如下所示进行设置。

1 选择所要输入的声源。
根据要连接至 INPUT1/INPUT2 插孔的设备，设置 INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) 开关。
外部音频设备（混音器等）： LINE
动态麦克风或带内置电池的麦克风： MIC
符合 48V 幻路供电标准的麦克风： MIC+48V

注意
- 如果连接的设备不支持 48V 幻路供电，则将此开关设为 MIC+48V 可能会导致故障。 请在连接设备之前进行核查。
- 如果是未用的插孔发出噪音，请将此插孔的 INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) 开关设为 LINE。

2 设置麦克风的输入电平。
当 INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) 开关设为 MIC 或 MIC+48V 时，可以利用 ATT (INPUT1/INPUT2) 开关设置输入电平。
请根据麦克风的灵敏度进行相应调节。
使用附带的麦克风 (ECM-XM1) 时，建议选择 ATT 10dB。
输入电平如下所示。
ATT 0dB： -60dBu
ATT 10dB： -50dBu
ATT 20dB： -40dBu

注意
- 当 INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) 开关设为 LINE 时，输入电平将固定为 +4dBu。 即使重置 ATT 开关，输入电平也不会发生改变。

3 设置记录声道。
利用 REC CH SELECT (INPUT1) 开关可以选择记录所用的声道。

REC CH SELECT (INPUT1) 开关的位置	音频记录至 CH1 和 CH2	
CH1. CH2	INPUT1	CH1 CH2
CH1	INPUT1	CH1
	INPUT2	CH2

- 要通过两个 XLR (3PIN) 插头使用立体声麦克风，请将 L 声道连接至 INPUT1 插孔，将 R 声道连接至 INPUT2 插孔，同时将 REC CH SELECT (INPUT1) 开关设为 CH1。

规格

尺寸（约）
XLR 适配器 (XLR-A2M) 单元
116.5 mm × 105.5 mm × 75 mm
（宽/高/长）（不包括连接线及突出部位）
麦克风 (ECM-XM1)
21 mm × 162 mm（直径/长度）
（不包括挡风罩和连接线）
质量（约）
XLR 适配器 (XLR-A2M) 单元 250 g
麦克风 (ECM-XM1) 121.5 g
操作温度 0 ° C - 40 ° C
存放温度 -20 ° C - +60 ° C

输入插孔
INPUT1/INPUT2 插孔： XLR (3PIN)，下凹
MIC： -60 dBu /-50 dBu /-40 dBu，3 kΩ（千欧）
LINE： +4 dBu，10 kΩ（千欧）
(0 dBu=0.775 Vrms)
所含物品
XLR 适配器 (XLR-A2M) (1)、麦克风 (ECM-XM1) (1)、挡风罩 (1)、连接器保护帽 (1)、携带包 (1)、成套印刷文件

设计或规格如有变动，恕不另行通知。

Multi Interface Shoe是 Sony Corporation 的商标。

产品中有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
内置线路板	×	○	○	○	○	○
外壳	×	○	○	○	○	○
附件	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T11363-2006标准规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T11363-2006标准规定的限量要求。

制造商： 索尼公司
总经销商： 索尼（中国）有限公司
总经销商地址： 北京市朝阳区太阳宫中路12号楼冠城大厦701
日本制造（主机）
出版日期： 2014 年 7 月